

【1年の安全に感謝して！】

仕事納めの日に危険物施設で、消防合同訓練を実施！

平成29年12月28日（木）

川越中央消防署は、**トーヨーケム(株)川越製造所**（川越市中福）の自衛消防隊と危険物施設で火災が発生したことを想定し、**連携した合同訓練**を実施しました。

訓練の想定

- 震度6弱の地震発生
- 漏れた危険物に引火、火災発生
- 従業員が、落下物の下敷きに

災害対策指揮本部（災害現場を統括し、被害を最小限に留める。）

【解説】・災害が起きたとき、災害対策指揮本部の役割は、多岐にわたります。

- ・主な役割は、情報収集（被害状況の把握など）、情報分析、的確な指示、自衛消防隊の活動の把握です。
- ・災害対策本部は、自衛消防隊の活動に対し、直接的な影響を及ぼしますので、強いリーダーシップが求められます。



- ・災害対策本部長 トーヨーケム(株)川越製造所長 佐藤氏
(速やかな情報収集と、それを瞬時に分析することにより、的確な指示していました。)

情報収集 (災害情報をいち早く集める。)



- ・ 自衛消防隊から情報を収集し、その情報を記録しています。
- ・ トーヨーケム(株)川越製造所は、収集した災害情報を共有できるように、ホワイトボードを活用し、記録を時系列で書き入れる工夫をしています。
- ・ 消防部隊は、これらの情報により、速やかに活動方針を決めることができました。



情報伝達 (従業員のために、情報をわかりやすく伝える。)



○集めた災害情報を分析して、その情報を従業員に届けます。

(この活動は、意外と難しいです。)

○トーヨーケム(株)川越製造所の情報伝達は、構内放送を活用していました。

○アナウンスは、とても聞きやすく、単に状況を伝えるだけでなく、従業員を安心させる心遣いも感じられました。

○5つの伝えるPOINT

- ゆっくり話す。
- はっきりと話す。
- 短く話す。
- 繰り返し話す。
- 気持ちを込める！

※情報は伝え方が大切です！

被害拡大防止（被害を最小限に！）



・液体の危険物は、容易に拡散していくため、砂袋を用いて遮蔽する工夫をしています。

消火訓練 (小さな火のうちに消す。これが「初期消火」です。)



【解説】

○危険物を伴う火災は急激に延焼拡大する特性があることから、トヨーケム(株)川越製造所では、初期消火の段階でより多くの消火器を集めて、一度に放出することにより初期消火能力の高める工夫をしています。

救出救助訓練 (助けを求める人を、いち早く助け出す。)



高度救助隊と力を合わせて、助け出した要救助者を安全な場所へ搬送する自衛消防隊。

避難訓練（より安全な場所へ）



【解説】・災害が起きたとき、より早い避難行動は、最も重要です。

・トヨタケム(株)川越製造所では、勤務場所に近い安全な場所を一時避難場所として複数指定しています。これにより、人員点呼がスムーズにできるため、避難していない従業員を特定し速やかに対応することができます。

出場 (川越地区消防局)



【化学車】
○危険物施設の火災に対応しています。



【はしご車】



【救助工作車】

現場到着 (川越地区消防局)



【情報収集】

- 施設関係者からの情報は、消防部隊がどのように活動を行うかを決めるうえで非常に重要です。



【水利部署】

- 消防部隊は、現場近くの水利に部署し、消火水を確保します。

POINT

- ※いざというとき、水利が使えないことがないように、日頃から点検をお願いします。

消火訓練（川越地区消防局）

【解説】

- 危険物を伴う火災において、私達、川越地区消防局は、原則として化学泡を活用した消火活動を行います。これは、危険物が水に溶けない特性がある場合に、消火のために水を使うと水の上を燃えている危険物が流れ出してしまう、容易に延焼拡大してしまうリスクがあるからです。そこで、燃えている危険物に化学泡を放出し包み込むことで、酸素を遮断し、窒息させながら消火していきます。

【参考】

- 川越地区消防局では、危険物施設火災に対応した化学車が川越北消防署、川越中央消防署、大東分署に配備されています。



総評 (安心安全をつなげていくために！)



・高野消防局長

今回、トーヨーケム(株)川越製造所様と私達、川越地区消防局が連携した訓練ができたこと、感謝いたします。

災害対策本部の的確な指示、素早い情報収集、気迫に満ちた消火活動、勇気溢れる救出救護訓練、私達、公設消防隊と緊密した情報共有等を拝見させていただき、お互いの長所を活かしたことで、より実践的な訓練になったと感じております。

一人一人の力が合わさることにより、大きな力に変わります。

大きな力は、自分達の会社だけでなく、地域を守ることができると私達は考えています。そして、最終的には自分自身を守り抜くことにもつながるのです。

これからも、安心安全をつなげていくために、一人でも多くの方が、地震災害によってつらい思いをしないように、日ごろから防火防災活動に励んでくださるようお願いいたします。